

はじめに

## はじめに

1 計画の性格

2 計画期間

3 計画区域と隣接圏・府県との関係

## 北陸圏の現状

- 良質な生活環境
- 豊富で良質な水資源と食材
- 気候・風土により育まれた独自性のある文化
- 都市と農村が近接したゆとりやいやしと利便性とを兼ね備えた環境
- 多様な産業の集積
- 三大都市圏や環日本海諸国を始めとする東アジアに対する地理的優位性

- 厳しい自然条件
- 全国より早い過疎化など農山漁村における資源管理の懸念
- 相対的に低い利便性
- 相対的に低い交流・連携
- 実力よりも低い評価をもたれている地域イメージ

・ポテンシャルの最大限の活用

・喫緊の困難への効果的な対応

## 北陸圏を取り巻く時代の潮流と課題

- 雪や地震など厳しい自然災害への備え

- 接続する都市と多自然との融合が生み出す魅力の活用

- 全国より早い人口減少・高齢化への対応

- 日本海側有数の人口・産業・経済等の集積の活用

- 日本海に面し、三大都市圏から等距離にある地理的優位性の活用

- 太平洋側の大規模地震など災害リスクへの対応

- 多様で豊富な自然や文化資源の集積など地域資源の活用

- 漂着ごみ、黄砂などの環日本海環境リスクの増大への対応

現状と課題

将来像

将来像 一  
人々をひきつける  
「暮らしやすさ」日本一

【位置付け】  
豊かで多様な自然、魅力ある都市や農山漁村、活力ある産業が共存した、圏域内の連携と域外・国外との交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域

将来像 二  
世界に開かれた日本海側における  
交流の中核拠点

新しい将来像実現に向けた戦略目標

「暮らしやすさ」日本一

### 安全・安心とくらし・環境

- 1 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実

- (1) 災害に強い安全・安心な暮らしの充実
- (2) 美しい国土の保全・管理
- (3) 子育て支援が充実し、女性・中高年が暮らしやすい環境の形成
- (4) 豊かで多様な自然、賑わいあふれる都市が共存する接続型都市圏の形成
- (5) 安心とゆとりのある暮らしやすい農山漁村の形成
- (6) 地域の暮らしの知恵が生かされた地球環境・地域環境にやさしい暮らしの充実

### 産業・活力

- 2 ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成

- (1) 地域主体の戦略に基づく企業誘致や既存企業の事業展開などによる地域産業の活性化
- (2) 産地の技術、地域資源、既存産業集積を生かした、活発な新事業・新産業の創出
- (3) 食料・木材等の安定供給と食文化を生かした農林水産業の多角的な展開
- (4) 産学官連携に基づくイノベーションの促進と環境整備

### 国内外との交流・連携

- 3 三大都市圏や環日本海諸国を始めとした東アジアにつながる日本海側の中核拠点の形成

- (1) 三大都市圏や環日本海諸国を始めとした東アジアなど国内外に展開する信頼性の高い交通基盤の形成・強化
- (2) 太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化
- (3) 産業と連携した物流機能の強化

### 国内外との交流・連携

- 4 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出

- (1) 全国や環日本海諸国を始めとした東アジアなど諸外国との観光・交流の充実
- (2) 安全・安心で、快適な暮らしの魅力の発信による知名度の向上
- (3) 人材育成と交流の場の形成
- (4) 暮らしの魅力による滞在、二地域居住、定住の促進
- (5) 環境をテーマとした環日本海諸国を始めとした東アジアなどとの国際協調・貢献の推進
- (6) 環日本海諸国を始めとした東アジアなど諸外国との文化・学術・スポーツ交流の推進

世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点

## 広域連携プロジェクト

- ※ プロジェクトは、広域性、戦略性、総合性、実効性の全てを満たすものであり、①対象が物理的に広域に及ぶもの、②拠点的であってもその効果が広域に及ぶもの、③圏域共通の課題解消に効果を発揮するものであり、圏域全体を対象とするものや圏域内の一定地域に限定したものなど具体性をもったものを主体とする方向。

広域連携プロジェクト

## 隣接圏域との交流・連携

- 1 中部圏との交流・連携  
(国土保全等への取組)  
(広域観光への取組)

- 2 その他隣接圏域との交流・連携  
(日本海国土軸の形成)

- (広域物流・国内外からの投資誘致への取組)  
(地震等広域防災への取組)

隣接圏域との交流連携

## 計画の実現に向けて

- 1 多様な主体の主体的な参加と協働
- 3 広域的な発想の下での地域連携の促進
- 5 他の計画・施策との連携

- 2 持続可能な圏域形成に向けた人材育成
- 4 投資の重点化・効率化
- 6 計画のモニタリング

計画の実現に向けて